

世界の民族衣装展

グアテマラの 民族衣装 Vol. 2



今年度 第3回目の世界の民族衣装展は、「グアテマラの民族衣装 Vol. 2」と題し、前回に引き続きグアテマラの色彩豊かな文様が織り込まれた衣装をご紹介します。

近代化が進むにつれ、現在では特徴的な織物を織る村も段々と少なくなってきています。特に男性用の民族衣装は女性に比べると早い段階でなくなってきていますが、まだまだ特色のある織物を続けている村もあります。女性用のウィピルと呼ばれるブラウスは、主に1～3枚の布を使用して四角にし、頭と腕が通る穴を開けた貫頭衣型の衣装です。木の幹や家の柱に取り付けた腰機を用い、多彩な色糸を使って幾何学文様や花・動物などを織り込んで作られます。ベルトや男性用のズボンにも多彩な文様が織り込まれ、衣装全体がカラフルになっています。

染織資料展では、代々受け継がれてきた衣装の技法や色彩等、美しく素晴らしい染織資料をご紹介します。是非この機会にご覧ください。

平成30年12月4日(火)～平成31年1月13日(日)

会場 桐生地域地場産業振興センター
4階「資料展示ホール」

開催時間 10:00～16:00

休館日 月曜日

年末年始休館 平成30年12月29日(土)～平成31年1月3日(木)

入場料 無料

